

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二  
(コード番号：7707 大証ヘラクレス)  
問合せ先 常務取締役業務本部長 秋本 淳  
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

## ＰＳＳ、他２社とともに共同研究先に採択される NEDO「がんの超早期診断・治療機器の総合研究開発」プロジェクト

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社(PSS)は、このたび、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO、村田成二 理事長：神奈川県川崎市)より、同機構が推進する「健康安心イノベーションプログラム」の一環として募集された「がん超早期診断・治療機器の総合研究開発」プロジェクトの委託先として、共同研究を行うコニカミノルタテクノロジーセンター株式会社および株式会社ファインラバー研究所とともに採択されました。

日本は先進国の中でもがん患者数・死亡率共に上昇している数少ない国であること、また年間約 50 万人ががんと診断され約 30 万人が死亡している現状もあり、早期診断及び新たな治療法の確立等、早急ながんへの対応が社会的要請になっています。本プロジェクトは、がんの診断・治療を一体的に革新するものと位置付けられています。すなわち、がんの診断においては、5 年生存率の急激な低下をもたらすステージより早期に発見できれば多様な治療法の選択肢があり得ることから、まず、がんの性状・位置等の情報を正確に得るための(1)超早期高度診断機器システムの開発を行い、これにより、患者のQOL向上、早期の社会復帰に向けてより患者身体への負担が低い、(2)超低侵襲治療機器システムの研究開発を行うこととなっています。事業期間は 2015 年 3 月までの 5 年間となっています

PSSは超早期高度診断機器システムの開発において、「血中分子・遺伝子診断自動化システムの研究開発」を他の 2 社と共同研究で実施します。PSSは遺伝子検査用検体調製機能の開発を受け持ち、血漿成分または細胞成分からビーズ技術等を用いた核酸抽出と性状分析等の機能を搭載したシステム開発を行います。PSSではこれまでに蓄積してきた核酸抽出・精製と自動化技術のノウハウにより、国民医療にとって最大の課題であるがんの超早期における信頼性の高い遺伝子検査を実現する自動化システムの開発に全力で取り組み、期待に応えてまいります。

(ご参照：NEDO ホームページ)

<http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/list.html#05>

以 上